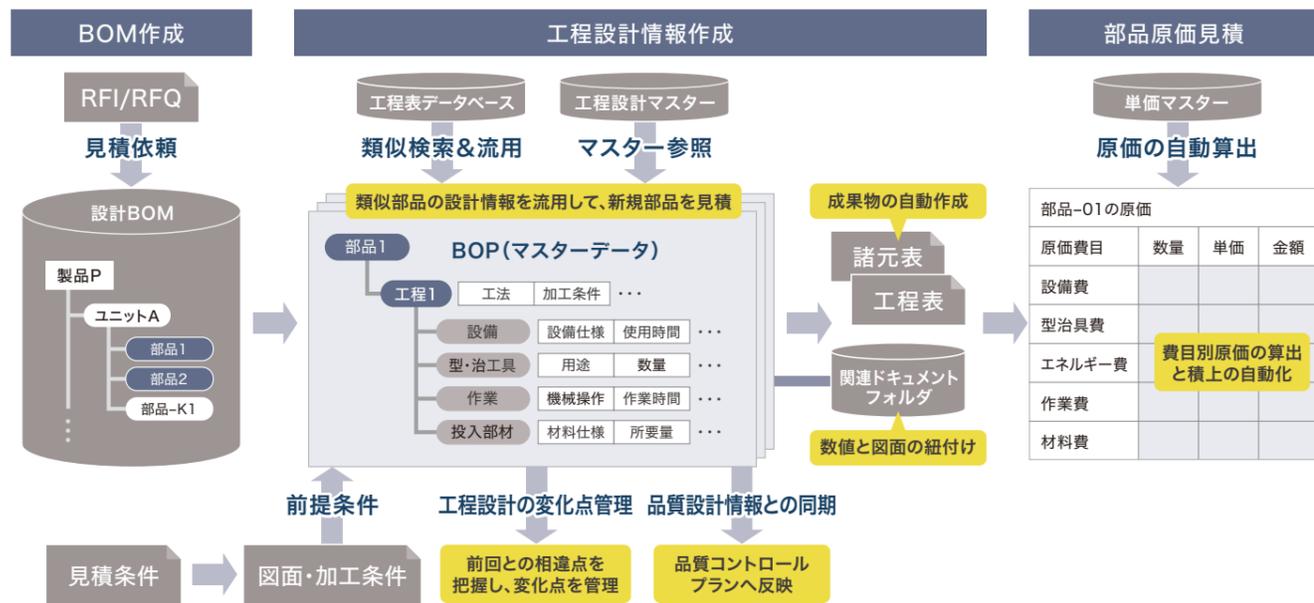


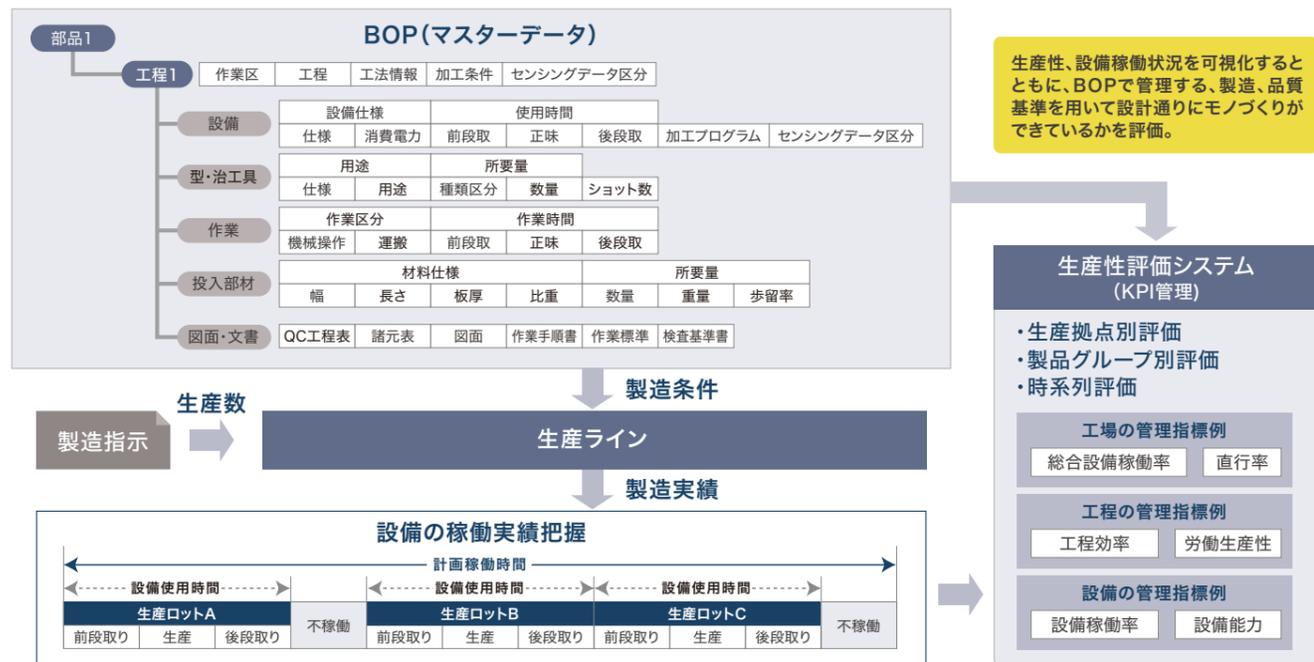
活用事例 01 | RFI/RFQ回答と工程・品質設計情報 (BOP) の統合管理

工程表をデータベースで一元集中管理し活用することにより、内製部品の諸元表や見積金額算出、RFI/RFQの履歴管理を容易に行うことが可能です。



活用事例 02 | BOPを活用した工場生産性の評価 (KPI管理)

量産後の生産性評価システム(KPI管理)構築において、工程基準値とIoT稼働実績データの紐付け管理マスターとして工程表データベースを活用可能です。



生産準備業務向け
DX推進ソリューション



持続的成長の鍵はBOPを軸とした
生産準備業務のDX推進にあり

※本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。



持続的成長の鍵はBOPを軸とした生産準備業務のDX推進にあり

製品設計・製品利益計画・原価企画・購買計画・工程設計・品質設計などの生産準備データを統合管理する基盤とBOP*1を軸としたQCDの作り込みを支援する業務フレームワークを提供します。

課題

- 人材の流動性が高まっている中、組織的な改善活動を進めるためノウハウを資産化したい
- ベテラン技術者の技能を伝承するとともに、属人的なプロセスを解消し、設計・製造現場との連携を強化したい
- QCD改善活動を強化するため、IoTの実績データの活用を進めたい

- ものづくりのノウハウの蓄積
- 工程設計力の向上
- データ活用による改善活動の強化

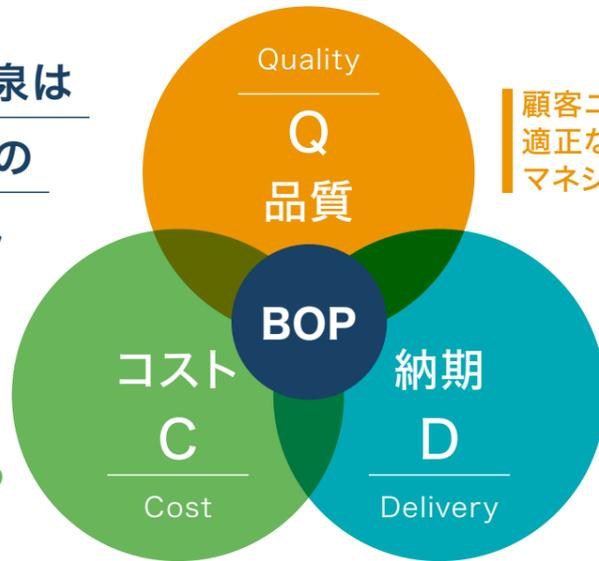
- BOPを軸に設計・製造・品質情報をデジタルデータとして資産化し、技術情報、ノウハウの活用基盤として提供
- 工程設計情報と同期の取れた品質コントロールプラン管理の仕組みを構築し、原価企画まで連動した業務フレームワークとして提供
- 生産実績、ノウハウを活用し、製造・品質条件・基準値の精度を向上させることによって、設計および製造現場の改善活動を強力に推進

解決

【QCDのバランスが取れた改善活動の必要性】

経営環境が激変する変革期を勝ち抜くには製品開発力の強化が求められています。
 ① 開発・生産準備期間短縮 ② コスト競争力強化 ③ 適正品質の作り込みを達成するために、BOPを軸としたQCD管理が不可欠です。

製品競争力の源泉は 生産準備段階での QCDの作り込み



顧客ニーズを満たす適正な品質を作り込むマネジメントを推進

生産性・品質・環境・コスト制約の折合いをつけた生産体制を確立

市場志向の原価企画活動推進による、利益確保の取り組みを強化

開発・生産準備期間短縮

BOM*2/BOPを軸に製品設計・工程設計・品質設計情報を集約し、設計情報のデジタル化および設計と製造現場の連携強化を実現



コスト競争力の強化

新製品の市場投入ににおいて、必要機能・品質の制約下で利益を最大化できるコスト目標に向け、原価企画活動を強力に推進



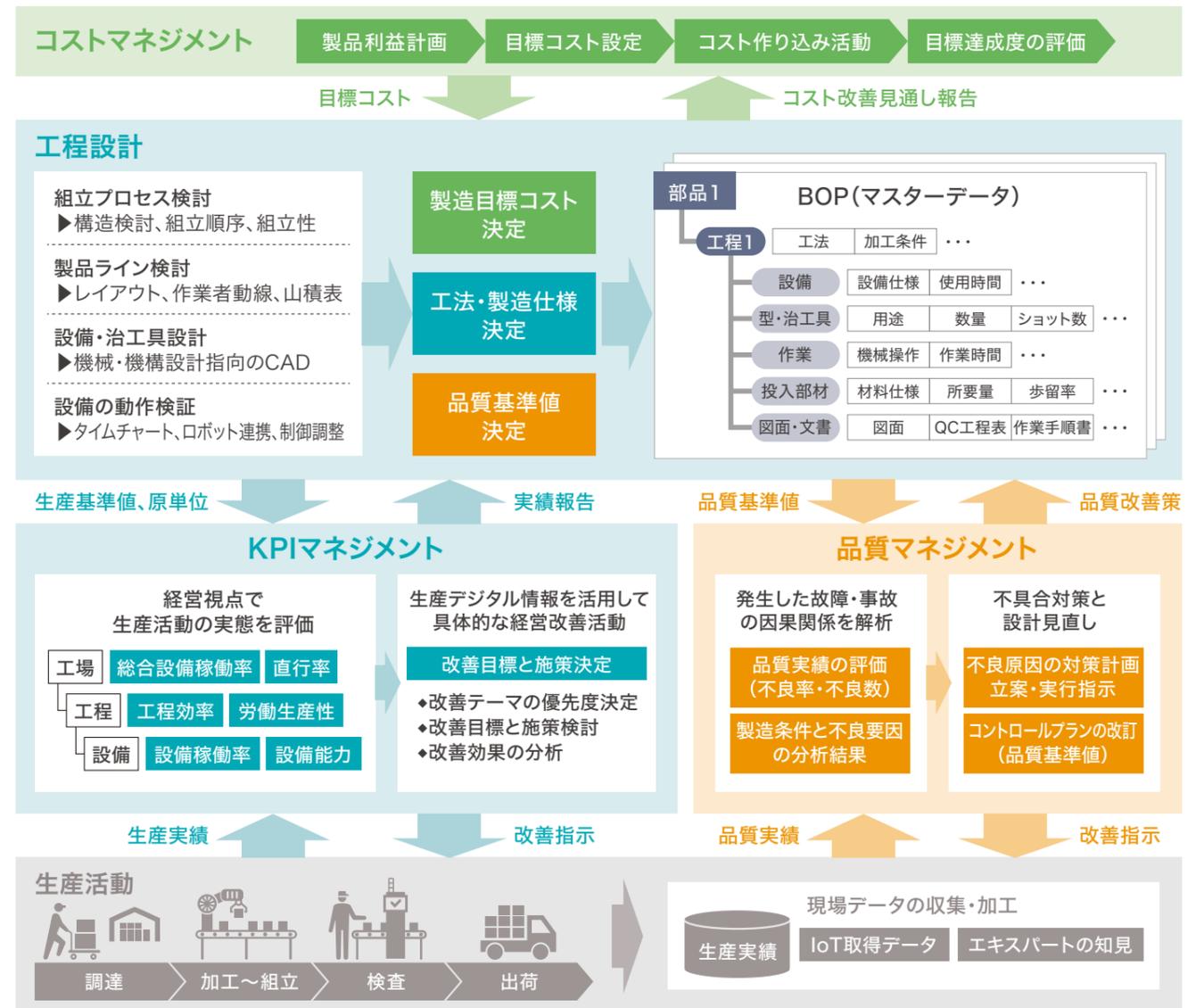
適正品質の作り込み

製造環境を考慮した品質基準や品質保証ノウハウを資産化し、設計・製造現場と連携した品質マネジメントを可能に



【QCD情報一体管理】

QCD情報の一体管理により、生産準備プロセスの改善や設計・製造・品質部門の連携強化を実現。QCD改善を強力に推進するプラットフォーム構築を支援します。



*1: Bill Of Process *2: Bill Of Materials